

機械設備工事特記仕様書
1. 工事概要
1. 工事名称 瑞穂中学 配膳施設増築工事
2. 工事場所
3. 工事工期 平成 年 月 日 - 平成 年 月 日まで
4. 建物概要
建物名称 構造 階数 延面積 (㎡) 消防令別表第一 備考
5. 工事種目
空気調和設備
換気設備
衛生器具設備
給水設備
給湯設備
排水設備
消火設備
ガス設備
尿浄化槽設備
昇降機設備
機械式駐車場設備
濾過設備
撤去工事
適用
1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記仕様書(最新版)による。
2. 特記仕様書
1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、● 印の付いたもの及び必要事項を記入したものを適用する。
● 印の付かない場合は、○ 印の付いたものを適用する。
● 印と ○ 印の付いた場合は、共に適用する。

項目 特記事項
9. 施工計画書
10. 施工図等
11. 材料等
12. 試験
13. 電気工事士等
14. 記録
15. 工事写真
16. 竣工図等
17. 既存調査
18. 工事保証
19. 工事区分
表: 工事区分表
表: 設備工事に必要な梁、壁、床のスリッパ
表: 仮設物の使用
表: 監督員事務所
表: 仮囲い等
表: 養生シート等
表: 工用電力・用水

項目 特記事項
1. 埋戻し及び盛り土
2. 残土処理
1. 設計基準強度等
2. 普通コンクリート
3. 現場練りコンクリート
4. 鉄筋
5. 基礎等の仕上げ
1. エッチングプライマ
2. 塗料
3. 錆止め塗料
1. 種類
2. 梁貫通部の補強
1. 配管材料
表: 配管材料

項目 特記事項
2. 一般用弁
3. 伸縮管継手
4. 防震継手
5. フレキシブルジョイント
6. 管の接合
7. 溶接接合
8. 異種管の接合
9. 区画貫通部の処理
10. 地中埋設配管の埋戻し
11. 埋設標示テープ、標示ピン
12. 防食処理
13. 保温工事
表: 埋設標示テープ、標示ピン
表: 防食処理
表: 保温工事

都市設計
工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事
図面番号 M-1
図面名称 特記仕様書 1
縮尺 S=1/100
製図 E.T.
日付 24.2.29
一級建築士事務所登録 (24A)第01211号
一級建築士登録 第152097号 村林俊治

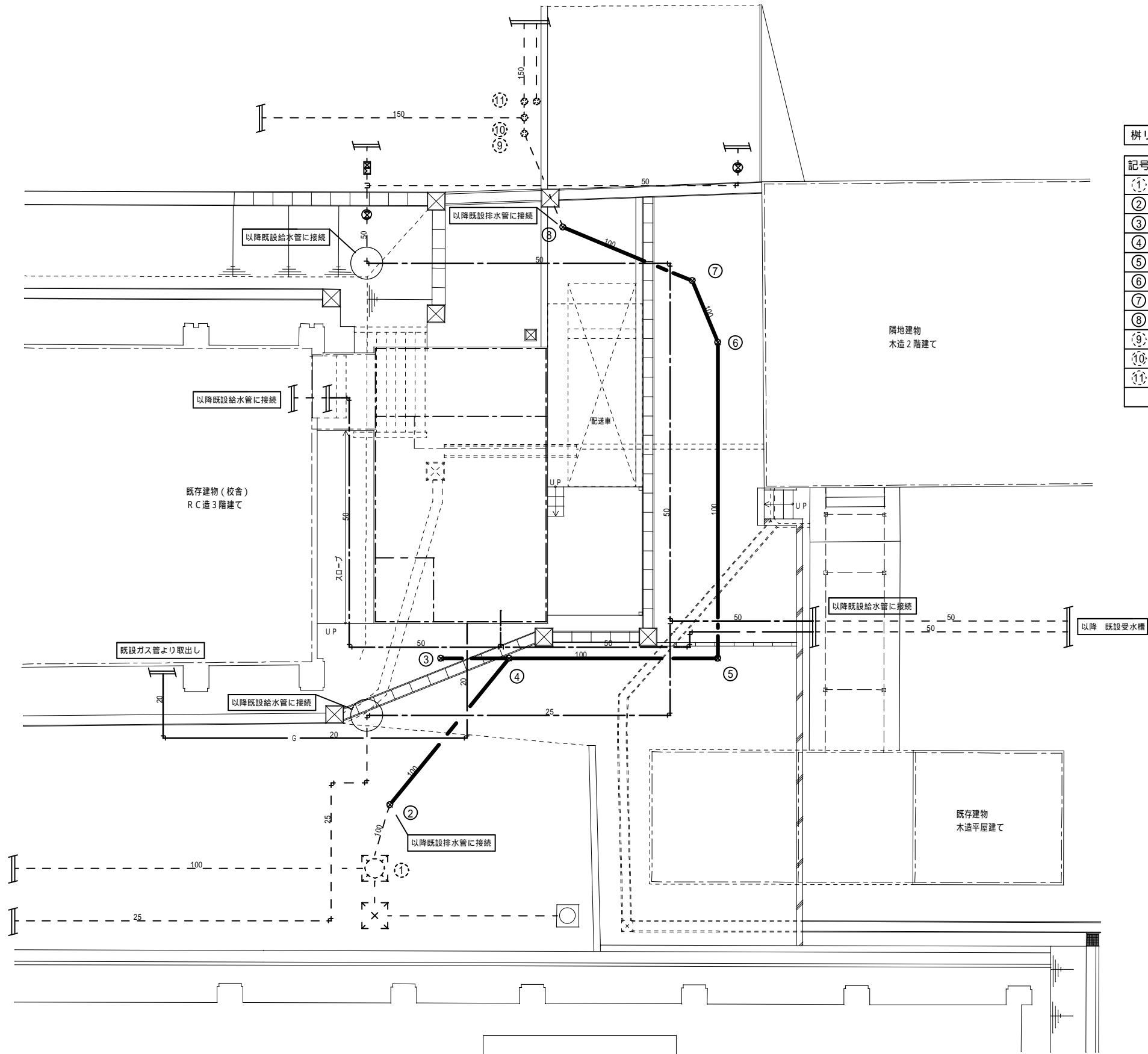
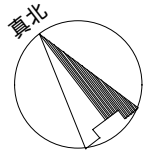
項目		特記事項		項目		特記事項		項目		特記事項		項目		特記事項																																																										
用途 ○温水管 ○蒸気管 ○冷水管 ○冷温水管	○屋内露出	保温種別 ○ロックウール保温筒+ポリエチレンフィルム+原紙+綿布 ○グラスウール保温筒+ポリエチレンフィルム+原紙+綿布	17 予備品、付属品等 盤 ランプ及びヒューズ 100% 空調機、換気扇各種 予備フィルター 工具箱 ドライバー(200mm+-, 100mm+-) モンキーレンチ(大,小), バイブレンチ(大,小) 組スパン(一式), ハンマー, ポンプブライヤー マンホールフック, ポンテン(大,小)	①給水方式 ○直圧 ○受水槽、高架水槽 ●受水槽、ポンプ圧送 ○受水槽、圧力水槽	②配管材 配管材は、本特記仕様書機械設備共通事項及び機共仕による。	3 水栓柱 合成樹脂製 ○ 70×70×900H 水栓の高さは600mmとする。	④管の埋設深さ ●一般敷地内 300mm ○ ●構内車両道路(図示部分) 600mm ○ 上記の数字は、舗装等のない場合の地表面から管上端までの深さを示したものであり、舗装等がある場合はその下部からの深さとする。	5 加入金等 水道直圧部分の工事施工の加入金等は下記による。 ○加入金 不要 ○要 ○配水管負担金 不要 ○要 ○給水装置工事手数料 ○不要 要	①一般撤去材 ●撤去工事 2 フロンガス 撤去機材及び配管内のフロンガスは、回収装置により適切に回収を行い、監督員が指示する書類を作成して提出する。 ○冷凍機 ○空調機 ○冷蔵庫 ○冷媒配管	①配管耐圧 施工中又は施工後に下記項目の試験・検査を行い、監督員に報告する。又下記以外にも特に監督員が指示する項目について試験を行う。	試験 ●給水管 ●給湯管 ●排水管 ○消火管 ○冷温水管 ○蒸気管 ○給湯管 ○冷水管 ○排水管 ○給湯管	試験方法 ●水圧 1.75 ○水圧 ポンプ全行程×2, 最小0.75 ○水圧 静水頭×2, 最小0.75 ●水圧 1.75 ○水圧 建物内0.03 ○敷地内 最上樹管頂+100mm ○水圧 250Pa(25mmH2O) ○水圧 ポンプ全行程×2, 最小0.75 ○水圧 ポンプ締切圧×1.5 ○水圧 設計送水圧×1.5 ○水圧 上記の項目の大きい方の圧力 ○空気又は窒素ガス 2.5 ○水圧 最高使用圧力×1.5 ○水圧 最高使用圧力×2.0 ○空気又は窒素ガス 2.8	保持時間 60分 60分 60分 1分 30分 15分 60分 60分 60分 10分 30分 30分 30分 24時間	○中央式 ●局所式 JIS5K 但し、最大常用圧力が5kg/cmを超える部分はJIS10Kとする。	○排水方式 汚水と雑排水 屋外 ○分流水 ●合流水 屋内 分流水 ○合流水 雨水 屋外 分流水 ○合流水 ポンプ排水 ○あり ●なし (○汚物 ○雑排水 ○汚水 ○雨水)	②井 JIS5K 但し、最大常用圧力が5kg/cmを超える部分はJIS10Kとする。	①排水方式 汚水と雑排水 屋外 ○分流水 ●合流水 屋内 分流水 ○合流水 雨水 屋外 分流水 ○合流水 ポンプ排水 ○あり ●なし (○汚物 ○雑排水 ○汚水 ○雨水)	②放流先 汚水 ●下水道 ○し尿浄化槽 雑排水 ●下水道 ○し尿浄化槽	3 負担金 ○要 ○不要	○消火設備の種類 ○屋内1号消火栓 ○屋内2号消火栓 ○二酸化炭素消火 ○屋外消火栓 ○ハロゲン化物消火 ○スプリンクラー ○泡消火 ○パッケージ型自動消火 ○消火器ABC10x 台 屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付口を設ける。	①ガスの種類 ○都市ガス ●LPGガス(○50kg 2本立、○20kg 本立)	2 施工 大阪ガス供給エリア内は、大阪ガスの責任施工とする。	3 親メーター ガス供給者より借用 ○購入	4 個別メーター ○ガス供給者より借用 購入	1 処理方法 ○小規模合併処理 (分離接触曝気方式 ○嫌気床接触曝気方式) ○合併処理(○別図参照 ○)	2 放流水質 BOD mg/l以下、BODの除去率 %以上	3 処理対象人員及び処理水量 人槽 m3/d	4 形式 ○ユニット形 ○現場施工形	5 電源、電気容量 x V x kw	6 浄化槽の据付 基礎杭は 不要 ○必要	7 ユニット形(FRP) 国土交通省大臣の形式認定品とする。	○昇降機設備 1 種類 ○一般エレベータ ○一般油圧エレベータ ○普及型エレベータ ○非常用エレベータ ○機械室レスエレベータ ○小荷物専用昇降機 2 仕様 国土交通省仕様 ○ 3 管制運転 ○地震時管制運転 ○火災時管制運転 ○停電時管制運転																																								
	○天井、P S内	○ロックウール保温筒+ポリエチレンフィルム+アルミガラスクロス ○グラスウール保温筒+ポリエチレンフィルム+アルミガラスクロス																															①方式 ○ダクト方式(○中央式 ○各階ユニット) ○ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ●パッケージ空気調和機 ○温風暖房機 ○空気調和機 ○温風暖房機	①給湯方式 ○中央式 ●局所式	○空気調和設備 ①方式 ○ダクト方式(○中央式 ○各階ユニット) ○ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ●パッケージ空気調和機 ○温風暖房機 ○空気調和機 ○温風暖房機	②動力源及び燃料 ●電気 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○都市ガス ○LPGガス	③主要熱源機器 ○吸収式冷水機 ○小型吸収式冷水機ユニット ○銅製ボイラー ○鋼製ボイラー ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ●パッケージ空気調和機 ○温風暖房機 ○ガスヒートポンプユニット	④給湯設備 ○給湯方式 ○中央式 ●局所式	⑤井 JIS5K 但し、最大常用圧力が5kg/cmを超える部分はJIS10Kとする。	⑥排水方式 汚水と雑排水 屋外 ○分流水 ●合流水 屋内 分流水 ○合流水 雨水 屋外 分流水 ○合流水 ポンプ排水 ○あり ●なし (○汚物 ○雑排水 ○汚水 ○雨水)	⑦放流先 汚水 ●下水道 ○し尿浄化槽 雑排水 ●下水道 ○し尿浄化槽	8 負担金 ○要 ○不要	⑧消火設備の種類 ○屋内1号消火栓 ○屋内2号消火栓 ○二酸化炭素消火 ○屋外消火栓 ○ハロゲン化物消火 ○スプリンクラー ○泡消火 ○パッケージ型自動消火 ○消火器ABC10x 台 屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付口を設ける。	⑨ガスの種類 ○都市ガス ●LPGガス(○50kg 2本立、○20kg 本立)	9 施工 大阪ガス供給エリア内は、大阪ガスの責任施工とする。	10 親メーター ガス供給者より借用 ○購入	11 個別メーター ○ガス供給者より借用 購入	12 処理方法 ○小規模合併処理 (分離接触曝気方式 ○嫌気床接触曝気方式) ○合併処理(○別図参照 ○)	13 放流水質 BOD mg/l以下、BODの除去率 %以上	14 処理対象人員及び処理水量 人槽 m3/d	15 形式 ○ユニット形 ○現場施工形	16 電源、電気容量 x V x kw	17 浄化槽の据付 基礎杭は 不要 ○必要	18 ユニット形(FRP) 国土交通省大臣の形式認定品とする。																		
	○床下、暗渠内	○ロックウール保温筒+ポリエチレンフィルム+防水麻布+アスファルトプライマ ○グラスウール保温筒+ポリエチレンフィルム+防水麻布+アスファルトプライマ																																																					⑧設計時の湿度の条件 屋外 一般居室 屋内 温度 湿度 温度 湿度 温度 湿度 夏期 % % % % % % 冬期 % % % % % %	⑨給湯設備 ○給湯方式 ○中央式 ●局所式	⑩井 JIS5K 但し、最大常用圧力が5kg/cmを超える部分はJIS10Kとする。	⑪排水方式 汚水と雑排水 屋外 ○分流水 ●合流水 屋内 分流水 ○合流水 雨水 屋外 分流水 ○合流水 ポンプ排水 ○あり ●なし (○汚物 ○雑排水 ○汚水 ○雨水)	⑫放流先 汚水 ●下水道 ○し尿浄化槽 雑排水 ●下水道 ○し尿浄化槽	13 負担金 ○要 ○不要	⑬消火設備の種類 ○屋内1号消火栓 ○屋内2号消火栓 ○二酸化炭素消火 ○屋外消火栓 ○ハロゲン化物消火 ○スプリンクラー ○泡消火 ○パッケージ型自動消火 ○消火器ABC10x 台 屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付口を設ける。	⑭ガスの種類 ○都市ガス ●LPGガス(○50kg 2本立、○20kg 本立)	14 施工 大阪ガス供給エリア内は、大阪ガスの責任施工とする。	15 親メーター ガス供給者より借用 ○購入	16 個別メーター ○ガス供給者より借用 購入	17 処理方法 ○小規模合併処理 (分離接触曝気方式 ○嫌気床接触曝気方式) ○合併処理(○別図参照 ○)	18 放流水質 BOD mg/l以下、BODの除去率 %以上	19 処理対象人員及び処理水量 人槽 m3/d	20 形式 ○ユニット形 ○現場施工形	21 電源、電気容量 x V x kw	22 浄化槽の据付 基礎杭は 不要 ○必要	23 ユニット形(FRP) 国土交通省大臣の形式認定品とする。
	○屋外露出 ○厨房内(露出)	○ロックウール保温筒+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板 ○グラスウール保温筒+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板																																																																						
●冷媒管	○屋内外露出 保温付被覆銅管+樹脂製化粧カバー ●屋外露出 保温付被覆銅管+ステンレス鋼板	⑯ダクトの種類 低速ダクト ○高速ダクト	⑰放流先 汚水 ●下水道 ○し尿浄化槽 雑排水 ●下水道 ○し尿浄化槽	18 負担金 ○要 ○不要	⑱消火設備の種類 ○屋内1号消火栓 ○屋内2号消火栓 ○二酸化炭素消火 ○屋外消火栓 ○ハロゲン化物消火 ○スプリンクラー ○泡消火 ○パッケージ型自動消火 ○消火器ABC10x 台 屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付口を設ける。	⑲ガスの種類 ○都市ガス ●LPGガス(○50kg 2本立、○20kg 本立)	20 施工 大阪ガス供給エリア内は、大阪ガスの責任施工とする。	21 親メーター ガス供給者より借用 ○購入	22 個別メーター ○ガス供給者より借用 購入	23 処理方法 ○小規模合併処理 (分離接触曝気方式 ○嫌気床接触曝気方式) ○合併処理(○別図参照 ○)	24 放流水質 BOD mg/l以下、BODの除去率 %以上	25 処理対象人員及び処理水量 人槽 m3/d	26 形式 ○ユニット形 ○現場施工形	27 電源、電気容量 x V x kw	28 浄化槽の据付 基礎杭は 不要 ○必要	29 ユニット形(FRP) 国土交通省大臣の形式認定品とする。																																																								
○給水管 ○排水管 ○給湯管	○住戸内コゴガシ 不要																⑰放流先 汚水 ●下水道 ○し尿浄化槽 雑排水 ●下水道 ○し尿浄化槽	18 負担金 ○要 ○不要	⑳消火設備の種類 ○屋内1号消火栓 ○屋内2号消火栓 ○二酸化炭素消火 ○屋外消火栓 ○ハロゲン化物消火 ○スプリンクラー ○泡消火 ○パッケージ型自動消火 ○消火器ABC10x 台 屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付口を設ける。	㉑ガスの種類 ○都市ガス ●LPGガス(○50kg 2本立、○20kg 本立)	21 施工 大阪ガス供給エリア内は、大阪ガスの責任施工とする。	22 親メーター ガス供給者より借用 ○購入	23 個別メーター ○ガス供給者より借用 購入	24 処理方法 ○小規模合併処理 (分離接触曝気方式 ○嫌気床接触曝気方式) ○合併処理(○別図参照 ○)	25 放流水質 BOD mg/l以下、BODの除去率 %以上	26 処理対象人員及び処理水量 人槽 m3/d	27 形式 ○ユニット形 ○現場施工形	28 電源、電気容量 x V x kw	29 浄化槽の据付 基礎杭は 不要 ○必要	30 ユニット形(FRP) 国土交通省大臣の形式認定品とする。																																										

都市設計

工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事 図面番号 M-2

図面名称 特記仕様書2 縮尺 S=1/100

一級建築士事務所登録(24A)第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治 製図 E.T. 日付 24.2.29



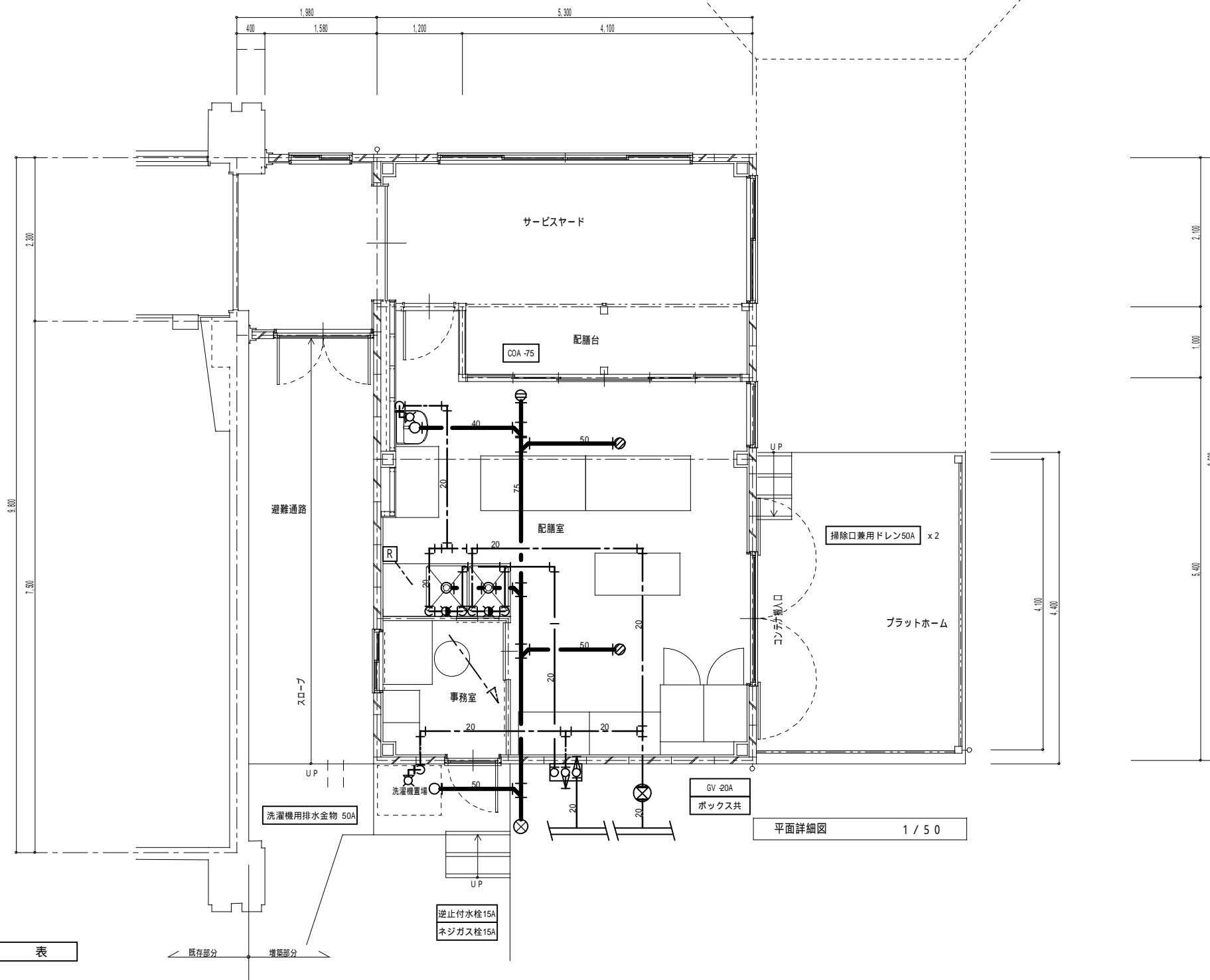
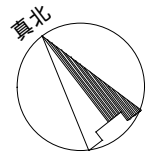
樹リスト

記号	樹種	寸法	管底	蓋種	備考
①	コンクリート樹	600x600	-1700	MHA-600	既設樹
②	小口径樹	150	-1720	樹脂製蓋	22'1/2L
③	小口径樹	150	-1760	樹脂製蓋	90L
④	小口径樹	150	-1780	樹脂製蓋	45Y
⑤	小口径樹	150	-1840	樹脂製蓋	90L
⑥	小口径樹	150	-1200	樹脂製蓋	22'1/2L
⑦	小口径樹	150	-1220	樹脂製蓋	45L
⑧	小口径樹	150	-1270	防護ハット	45L
⑨	小口径樹	150	-1300	防護ハット	既設樹
⑩	小口径樹	150	-1310	防護ハット	既設樹
⑪	小口径樹	200	-1350	防護ハット	既設接続樹

樹管底は参考値とする。

新設 配置図 1/100

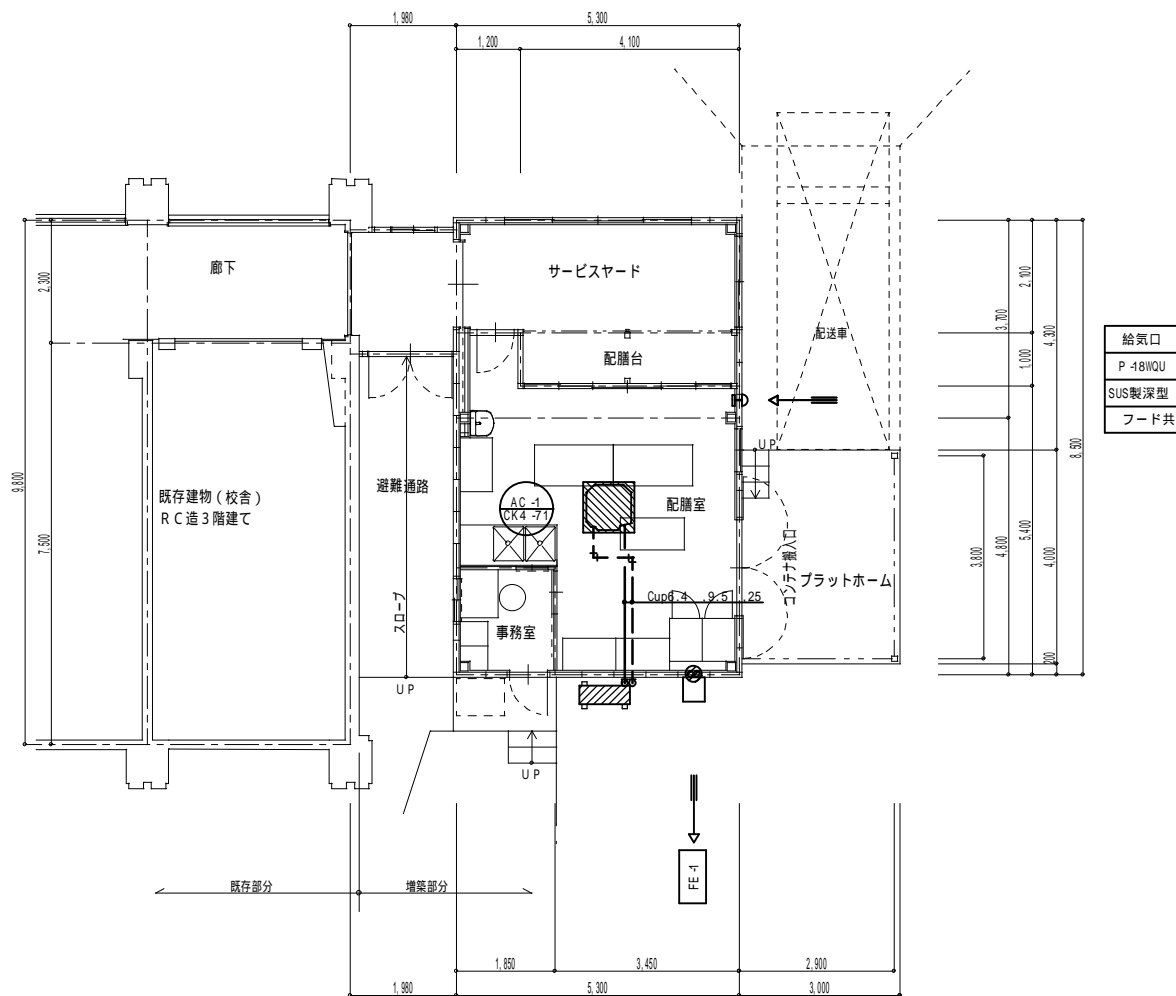
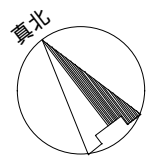
<h2>都市設計</h2>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 M-3
	図面名称 新設 配置図	縮尺 S=1/100
一級建築士事務所登録 (24A)第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治		日付 24.2.29



器具表

名称	品番及び附属品	配膳室	サービスヤード	屋外	合計	備考
手洗器	MR850APA	1			1	自動水栓 発電タイプ
湯水混合栓	TKJ31UF3S	2			2	
洗濯用水栓	TW11GR			1	1	
ガス給湯機	24号 屋外壁掛 リモコン配線、附属品一式含む。	1			1	AC100V

都市設計	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築及び受電設備増設等工事	図面番号 M-4
	図面名称 衛生設備詳細図	縮尺 S=1/50
一級建築士事務所登録 (24A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E.T.	日付 24.2.29



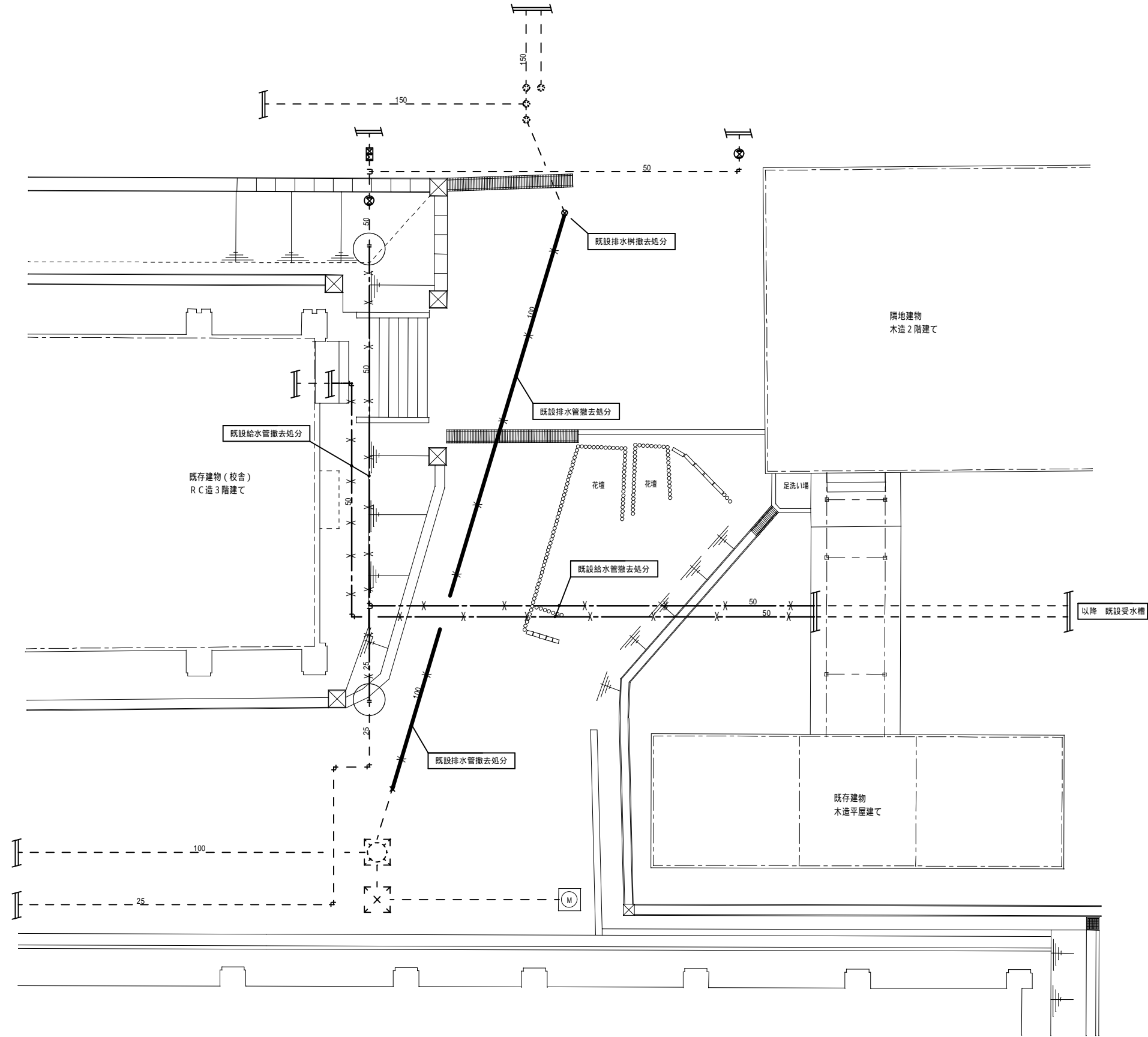
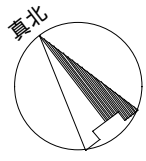
平面図 1 / 100

機器リスト

記号	名称	型式	運転方式	冷房能力	暖房能力	電源	送風機			参考品番	備考	台数
							圧縮機	室内機	室外機			
AC-1	空冷ヒートポンプエアコン	天カセ4方向型	個別運転	7.1 kw	8.0 kw	1 200V	1.5kW	120W	60W	PLZ-ZRP80SBFD	フィルタ、パネル、リモコン及び配管配線、附属品一式含む。	1

記号	名称	型式	口径	風量	電源	消費電力	参考品番	備考	台数
FE-1	換気扇	標準扇	250	900 m3/h	1 100V	25.0 W	EX-25EH5	台所用電気式、防鳥網付SUS製「ガ-加」-、木枠、附属品一式含む。	1

<h1>都市設計</h1>	工事名称 瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号 M-5
	図面名称 冷暖房換気設備工事	縮尺 S=1/100
一級建築士事務所登録 (24A)第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治	製図 E.T.	日付 24.2.29



既設 配置図 1/100

都市設計

工事名称	瑞穂中学校配膳施設増築 及び受電設備増設等工事	図面番号	M-6
図面名称	既設配置図	縮尺	S=1/100
製図	E.T.	日付	24.2.29

一級建築士事務所登録 (24A)第01211号
一級建築士登録 第152097号 村林俊治